

2016年度  
関西学院大学ロースクール  
C日程二次募集

一般入試（法学未修者）  
特別入試

論文問題

《10:00～11:20》

○開始の指示があるまで内容を見てはいけません。

## 【論文問題】

問題文をよく読んで、以下の各問題に答えなさい。

なお、本文に出てくる「ミリアム」とは、アメリカの心理学者の6歳の娘であり、幼稚園から小学校に入るまでの6か月間、親と遊びながら、どうやって算数の諸概念や計算の仕方を身に付けていくのか、観察の対象とされた。ミリアムは、身近なものを指折り数える段階から、目の前に並べられたものの合計の数を順序良く指さしながら数える段階、コインを見て（あるいは想像して）数種類のコインを組み合わせる物の値段の計算ができる段階、LOGOと呼ばれるパソコンの画面上の矢印を指定した角度に応じて動かしてターゲットに当てるシューティングゲーム（足し算や引き算で矢印の角度が変わることになる）などを経験しながら、具体的対象物から離れて抽象的に数というものがわかるようになり、また、指折りなしでの計算ということがわかっていったことが具体的に記述された。

問題1 下線（A）の問いに対するあなたの解答を筆者の見解を踏まえて示しなさい（300字程度）。

問題2 筆者は学校を下線（B）の「標準的な知識や技能を確実に伝達するところ」とする考え方に反対して、学校は、下線（C1）の「子どもたちに向けての私たち大人の「文化的実践への参加」のよびかけ」と下線（C2）の大人と子どもの相互の「わかりあい」の場だとしている。あなた自身の「わかる」ことの位置づけに照らして、あなたはいずれの学校観を支持するか、意見を述べなさい（600字程度）。

## 問題文

佐伯 胖著『『わかる』ということの意味』（岩波書店、1995年）より抜粋。なお、章立てなどは略。

**著作権の関係上、2頁以下の問題文については、ホームページ上での公開及び、印刷物での配布は行っていません。なお、閲覧のみ可能としていますので、ご希望の場合は、関西学院大学司法研究科事務室までお越しく下さい。**